

SEINAN CHANTEURS

Gustav Mahler

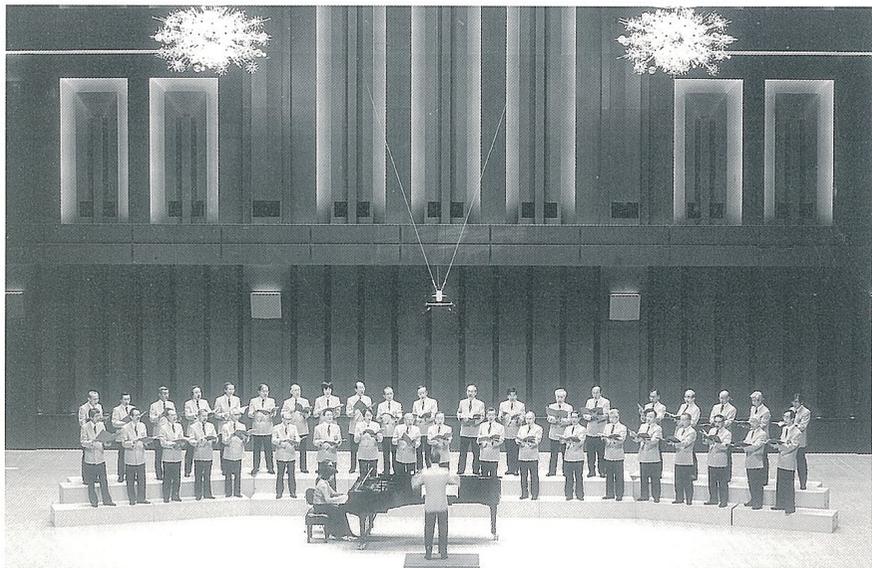
2001

《創立47周年》
第24回西南シャントウール定期演奏会
SEINAN CHANTEURS ANNUAL CONCERT 2001

賛助出演：グリーンヒルコール&フラウエンコール南

2001年12月1日(土) 午後4:30開演
アクロス福岡シンフォニーホール

主催/西南シャントウール 共催/西南学院大学同窓会・西南学院グリークラブOB会
後援/福岡市・福岡市教育委員会・(財)福岡市文化芸術振興財団・福岡県合唱連盟・朝日新聞社



「2000・第23回定期演奏会」より



西南シャントウール
会長/徳永麟之助

本日は師走最初の土曜日にも不拘、大変多くの方々にご来場頂きました。誠に有難うございます。

去る9月11日の米国のあの惨事では、福岡の銀行の方も犠牲になられました。犠牲者の方々のご冥福を心からお祈り致します。新しい夢と希望を描いて迎えたはずの新世紀の初年が、冒頭より躓き、大変な不安が世界中を被っています。各国の宗教者が知恵を出し合ってより良い解決の道を探って欲しく思います。本日は「アヴェ・マリア」と「アメリカの歌」のステージが用意されていますが、シャントウールのメンバーもそれぞれの感慨を持って歌うこととなるでしょう。

さて、西南シャントウール創設者で、永い間指導をされてきました内海氏が本日の定演をもって指揮者を退任される事となりました。昭和29年(1954)西南学院グリークラブの卒業生を中心に結成された西南シャントウールは、そのほとんどが氏の指揮により今日迄継続されてきました。これは偏に氏の情熱の賜物と団員一同感謝しております。今後も後輩の指導者として今まで同様、団を支えて頂けると思っています。本日ソリストとして東京から友情出演してくださる新保氏も、シャントウール結成時のメンバーのおひとりです。

来年からは新しい指揮者体制で活動してまいります。今まで同様皆様方の温かいご支援、ご指導をお願い申し上げます。

そして、今年も素晴らしい女声合唱団の皆さんに賛助出演をお引き受け頂きました。声楽家の大庭尋子さんご指導の、二つの女声合唱団です。どうぞ明るい歌声をお楽しみ下さい。

最後になりましたが本演奏会を催すにあたり、今年も多くの団体、企業の方々のご協力、ご支援を頂きました。心より御礼申し上げます。



女声合唱団
指揮者/大庭尋子

西南シャントウールの皆さん、第24回定期演奏会、おめでとうございます。1954年、合唱を愛するグリークラブのOBが「歌おう！」と結成されたとのこと。ここまではよくある話ですが、半世紀近くもその活動が継続されてきた事に対して、深い畏敬の念を抱かずにはいられません。「歌に対する熱い思い」がシャントウールの炎を燃やし続けてきたのでしょう。今回、出演の機会を頂き大変光栄に思っております。又『夢みたものは』をシャントウールの皆さんと一緒に歌いたい、という私共のわがままを快くお引き受け下さり本当に有難うございます。今宵、皆さんと「歌える幸福」をかみしめたい、そして皆さんをお手本に、私共も一歩一歩前進していきたいと思っております。

最後になりましたが、西南シャントウールの今後の発展を心よりお祈り申し上げて、お祝いの言葉とさせていただきます。

[I 部]

I. 男声合唱とピアノのための『 AVE MARIA 』

編曲・指揮／内海敬三
ピアノ／瀬川啓子

- Ave Maria Johann S. Bach = Charles F. Gounod
- Ave Maria Giuseppe Verdi
- Sancta Maria Jean-Baptiste Faure
- Ave Maria Giulio Caccini
- Cujus animam Gioacchino Rossini

II. 《賛助出演》「女声合唱団」

グリーンヒルコーラル & フラウエンコーラル南

『日本の抒情をたずねて』

指揮／大庭尋子
ピアノ／池松佳奈子
藤野陽子

- しゃぼん玉 作詞/野口雨情・作曲/中山晋平・編曲/岩河智子
 - 鞠と殿様 作詞/西条八十・作曲/中山晋平・編曲/岩河智子
 - 五木の子守唄 熊本県民謡・編曲/荻久保和明
 - 落葉松 作詩/野上 彰・作曲/小林秀雄
- 〈混声合唱〉
- 夢みたものは 作詩/立原道造・作曲/木下牧子

—— 休憩 (15分) ——

[II 部]

III. 『 SONGS OF AMERICA 』 (アメリカをうたう)

指揮／馬頭経明
ピアノ／堺 奈々

- Gentle Annie S. Foster ■ A. Parker / R. Shaw
- Shenandoah Sea Shanty ■ A. Parker / R. Shaw
(ソロ：倉地 進)
- I wonder as I wander Appalachian Carol ■ J. J. Niles / L. H. Horton
(ソロ：大庭尋子)
- Memory T. S. Eliot / A. L. Webber ■ J. Leavitt
(from " CATS ") (ソロ：新保堯史)
- Cotton Fields H. Ledbetter ■ D. Moore
- Ol' Man River O. Hammerstein II / J. Kern ■ W. Stickles
(from " SHOW BOAT ") (ソロ：新保堯史)

—— 小休止 ——

IV. 男声合唱とピアノのための『 さすらう若人の歌 』

作曲／グスタフ・マーラー 編曲／福永陽一郎

指揮／内海敬三
ピアノ／瀬川啓子

- I. Wenn mein Schatz Hochzeit Macht
『 彼女の婚礼の日は 』
- II. Ging heut' Morgen übers feld
『 朝の野原を歩けば 』
- III. Ich hab' ein glühend Messer
『 燃えるような短剣をもって 』
- IV. Die Zwei blauen von meinem Schats
『 彼女の青い目が 』

ご挨拶にかえて

内海 敬三

マリアに思う

ミレニアム、ミレニアムの声と共に新しい世紀を迎え、アヴェ・マリアの曲を聞く機会は多いようである。そもそもキリスト教の聖書にはマリアに関する記述は少なく、当然、教会はマリアの神聖化には否定的である。にも拘わらず、カトリックの国々ではマリアの名のつく教会はゴマンとあり、町角にもマリア像をよくみかけ、マリア信仰は庶民の生活に深く浸透している。

また、東方正教会の聖画アイコン（因みに英語読みでアイコン。我が家にあるパソコンのアイコンをクリックしてもマリア様は現れない）をはじめとして絵画でも、音楽でもマリアに関するすぐれた芸術作品は多く、ご本尊のキリストを凌ぐ人気があるとすら思える。これは男性中心のユダヤ教の影響を受けた旧約聖書の『父なる神』が「律法の神、裁きの神」で近寄り難い存在と感ぜられるからだろうか。

女神信仰は「アイダ」にも出てくるエジプトのイジスや日本の観音菩薩のように、古くから世界各地にある。昔はお産や疫病、戦争等、死が庶民の生活に隣り合わせていて、苦しみ悩む人々は慰めと癒しを与えてくれる優しい『母なるもの』を求めたのであろう。

悩み多い今日、日本にもマリア様が必要なかもしれない。今夕我々のつたないアヴェ・マリアのステージが安らぎのひと時となれば幸いである。

War alles wieder gut!

「私は三重のホームレスである。オーストリアではボヘミアン、ドイツの中のオーストリア人、さらに世界の中ではユダヤ人で、何処にあってもよそ者として、決して歓迎されることはなかった。」とマーラーは述懐している。父親は行商人で、後にウイスキーの製造、販売でかなりの財をなしたが、生まれつき足が不自由な母に対して暴君であり、その母を愛する少年の彼はいたたまれず、しばしば家を飛び出したという。

その頃ウィーンの都市イェグラウの街には軍隊のプラスバンドや手回しオルガン、民謡等の音楽があふれ、二歳の時に彼は既に数百の歌を覚えていたという。また周囲の自然も彼に大きな影響を与え、野原の花や小鳥が彼の悩める心を癒してくれた。

また、彼の14人もいた兄弟（一説には12人）のうち、実に7人が幼い時につぎつぎに亡くなり、いたいけな妹はロウソクをともして「葬式遊び」をしたという。このトラウマは彼の心に消し難い影響を与えたであろうことは想像に難くない。そして「民謡と自然と悲しい生い立ち」が彼の音楽の大きな特徴になっている。

彼はニーチェの影響をうけ、社会主義に共感を抱き、更にユダヤ教からキリスト教に改宗する「さすらいの人」でもあった。音楽的にはワグナーに心酔し、大きな影響をうけたが、ブラームスからはその作品を拒否され、一時作曲家として自信を失っていた。しかしブラームスから「ドン・ジョヴァンニ」を、チャイコフスキーからは「オネーギン」の上演を絶賛されて指揮者として自信を回復、次第に名声は確立され、遂にニューヨークのメトロポリタン歌劇場に招聘されるまでになった。作曲家としてはブルックナーと師弟以上の交友を持ち、またシェーンベルク（12音技法の創始者）にも大きな影響を与えた。

「さすらい若人の歌」では最後に“War alles, alles wieder gut!”（すべて、すべて再び良くなった!）と歌われる。私たちが混迷のこの時代に「すべてよし」と心から歌えればと思う。

Ave Maria 『マリア賛歌』

・バッハ・グノー：アヴェ・マリア

バッハもグノーも共に教会のオルガニストを勤めた敬虔なキリスト者であったが、この曲はJ.S.バッハの平均律クラヴィア曲集第一巻第一曲のプレリュードをそのまま伴奏としてグノーが歌の旋律を書き加えたものである。静かな分散和音の伴奏にのせて歌われる清らかなマリアへの賛歌は人々を魅了して止まない。だからこそ、多くの人が合唱曲にも編曲しているのであろう。

・ヴェルディー：アヴェ・マリア

オペラの序曲を思わせる前奏は、沈んだ重厚な低音のハーモニーが人の深い悩みを暗示するかのようである。次に救いと希望を示すように、明るい長調に変わり、再び静かな安らぎに終わる。コーラスのユニゾン、中世僧院のグレゴリアン・チャント（お経）を思わせる。中間部の複雑なハーモニーはオペラの大御所の面目躍如である。

・フォール：サンクタ・マリア

1830年生まれフランス人で、バリトン歌手として多くの歌劇場に出演し名声を博した。声楽曲も残している。

静かで爽やかな2拍子の前半から、ベースの先導によって曲は次第に盛り上がり、遂にはピアノ伴奏の壮大な分散和音に乗ってクライマックスに至る。自らが歌手であるためだろうか、曲の盛り上げ方はさすがである。

・カッチーニ：アヴェ・マリア

カウンターテナー、スラーバや盲目のテナー、ボチェリをはじめとして、最近では映画『レニングラード』の予告編でも歌われるなど、広く知られるようになった。もはやアヴェ・マリアはシューベルトやグノーだけではない。絶妙な不協和音に支えられる静かで、甘く優しい旋律に、この時代が必要とする「癒し」を覚える人も多いであろう。

・ロッシーニ：クユス・アニマム

「スターバト・マーテル」（十字架の下に佇む聖母）からの曲である。最愛の息子キリストを十字架という極刑に掛けられながら、その悲しみに耐え、すっと立つ、けなげなマリアを歌っている。悲劇的な十字架を題材としながらも、明るく、リズムカルなこの曲は行進曲を思わせるほどであるが、まさに苦しみを乗り越えて生きようとする母親の強さ、積極的な信仰を表しているようである

（記：内海敬三）

『アメリカをうたう』

アメリカは多種多様な民族の集団である事はご存じの通りです。そこで歌われる多くの歌は移民と共にイギリスをはじめヨーロッパ各地からアメリカに渡り歌いつがれ、アメリカの歌となって歌われているもの、アフリカを中心として労働者として渡って来た黒人達の音楽・ジャズや労働歌、黒人霊歌などに代表されますが、その後は、フォスターに代表されるアメリカの作曲家達によって多くの作品が生まれています。

アメリカ移住者達の開拓者魂、南部を中心とした黒人達の過酷な労働などから生まれた逞しい男性的な歌、そしてアメリカらしい若々しく明るいメロディーは男声合唱に相応しい「アメリカの歌」です。

今日のコンサートはフォスターの作品からミュージカルまで、なつかしいメロディー、美しいメロディーを集めました。「メモリー・キャッツ」はアメリカの歌とは言えませんが、バリトンソロと男声合唱というめずらしい組合せをお楽しみ下さい。(ソリストの新保亮司さんは二期会の大ベテランで、西南シャントウールが創設された当時のメンバーで、高校3年生で参加その後東京芸大を卒業、現在もオペラを中心に活躍中の声楽家です。)

・ **Gentle Annie**: やさしいアニー (S. Foster)

フォスターの作品の中では、あまり有名ではありませんし広く知られている曲ではありませんが、すぐれた歌曲のひとつと言えます。フォスターはミンストレル・ショウ (日本の寄席の様なもの) の為に多くの唄を作曲していますが、この曲はそんな中の1曲です。

“嵐の夜に道路を横切ろうとして馬車に轢かれた「少女アニー」の死を悼んで書いた”とされています。フォスターの心の優しさあふれる美しいメロディーです。愛するアニーを思う余情豊かに唄われます。1856年の作品。

・ **Shenandoah**: シェナンドー (Sea Shanty)

カナダの貿易商に雇われた船乗りの、ラブ・ソングから出ていると言われていますが、シー・シャンティーにはいろいろの説があります。船乗りの唄である事から男性的な唄が多く男声合唱として多く唄われています。“シェナンドー”とはインディアンの酋長の名という説もあり、酋長の娘に恋した船乗りの唄とも言われています。いずれにしても当時の永い船旅の船上で、船乗りの作業や慰安にこうした歌が大いに唄われていたと言われていました。

・ **I wonder as I wander**: (Aparatian Carol)

アパラチア山脈地方で古くから唄われていた民謡で、クリスマスキャロルとしても唄われています。さまざまな人生の不思議や迷いを考え、どのようにキリスト様は救ってもらえるのか、と問いかける女声ソロの美しくシンプルなメロディーはこころ洗われるものがあります。原曲はやはりイギリスのキャロルではないかと言われていますが、黒人霊歌としても唄われています。(ソロは賛助出演していただく大庭尋子先生にお願いしてあります)

・ **Memory**: メモリー (ミュージカル「Cat's」より)

1981年ロンドン初演。T. S. エリオットとアンドリュー・ロイド＝ウェッパのコンビで世界各国で繰り返し上演されている代表作です。日本では1983年に新宿のテントで初演されて以来、劇団「四季」のレパートリーとして全国各地で上演されました。福岡でもソーサイド百道でテントで上演されました。ご覧になった皆様も多いと思います。

クライマックスで唄われる神々しいこの美しいメロディーは“キャッツ”を代表する名曲です。オリジナルはソプラノが朗々と歌い上げる感動的な場面です。

・ **Cotton Fields**: (American Folk Song)

アメリカを代表するウエスタン・スタンダード・ナンバーの一つで、カウボーイが好んで唄い、自然にコーラスになるというカントリー・ウエスタンの名曲の中の名曲です。1961年から1962年にかけてアメリカで大ヒットしました。はびるようなリズムとメロディーは、何時聴いても、そして唄っても楽しい曲です。

・ **Ol' Man River**: オールマン・リヴァー (ミュージカル「Show Boat」より)

1927年初演。映画は1929・36・51年。作詞 オスカー・ハマースタイン2世、作曲はジェローム・カーン。ミシシッピ河を“オールド・マン・リヴァー”に例え、そこに様々な黒人の思いを託して唄われます。

Lieder eines fahenden Gesellen 『さすらう若人の歌』

マーラーにとっては「歌曲と交響曲は不即不離」あり、交響曲第一番「巨人」と「さすらう若人の歌」は音楽的にも精神的にも深いつながりがある。この曲はブロードのソプラノ歌手アンナ・リヒターに対する彼の失恋体験を反映していると言われ、1885年完成した。当時弱冠25歳、カッセル王立歌劇場の副指揮者であった。

作曲の経緯には不明な部分が多く、当初6曲から成るとされるが、現存する4曲以外は知られていないし、その4曲も何度も手を加えられている。詩は彼自身の作。

I. 「彼女の婚礼の日は」

16分音符のAllegroのピアノ伴奏と8分音符のAndanteの合唱とが目まぐるしく入れ代わる冒頭の動きはボヘミア舞曲の影響とされ、愛を失った若者の心情を表すようである。中間部は一転して軽やかな牧歌風の旋律となり、「この世はなんと美しいでしょう」と鳴く小鳥に、「花よ咲くな、小鳥よ鳴くな」と悲しい思いを語りかける。この間ピアノが小鳥のさえずりを模しているが、マーラーが好んで用いる手法である。やがて冒頭の旋律がもどり、眠りの床で悲しみを歌う。

II. 「朝の野辺を行くと」

野原を歩いてゆくと、草の露も、小鳥も、釣鐘草も「この世は何と素敵なんだろう！おはよう！」と語りかける自然への賛美が主体である。特徴のある民族調のテーマがくり返され、時に形を変え展開されてゆくのはカノン形式といえる手法である。自然の明るさの中で「僕には幸せは来るのだろうか」と自問するが、最後に「僕の人生には花咲くことはない」と悲しみの言葉をつぶやきながら静かに終わる。ピアノの伴奏が重要な働きをしている。

III. 「燃えるような短剣をもって」

「嵐のように荒々しく」という指示があるように、行き場のない激情が胸の底から噴出するように、ピアノと共にくり返される上向の旋律は全体の中で最も重苦しく劇的な表情を示す曲である。灼熱のナイフがso tief! (かくも深く) 胸につき刺さる。最高音から下降する旋律、更にO weh! (なんと哀しいことか!) というこの曲を象徴する言葉がくり返され、絶望の深さを一層際立たせる。冒頭でピアノの印象的な分散和音はナイフの突き刺さる様を表すようで、これは曲の最後にもとぎれ、とぎれに現れ印象的ある。

IV. 「彼女の二つの青い瞳が」

荒野をさすらう若者の足音を思わせる曲で「恋人の眼差しは私を遠い世界に追いやり、私は最愛の地に別れを告げる。」更に曲は明るい長調に変わり「花びらが雪のように降りかかる菩提樹の下、夢の中で安らぎをえる。」と歌われるこの旋律はシューベルトの「冬の旅」の「菩提樹」と比べられ、まことに美しい。最後には、苦しみを超えて「世の仕打ちも、愛の悩みも Alles gut (すべて、良し)」という人生を肯定する言葉となり、しみとおるような静かなピアノシモで曲は終わる。

(記: 内海敬三)



指揮者／内海敬三 (うつみ けいぞう)

1954年、西南学院大学商学部卒業。56年、英文科卒業。
1950年、西南学院グリークラブ指揮者となり翌51年と連続して西部合唱コンクールに優勝。全国合唱コンクールでも連続3位に入賞して、戦後のグリークラブの第一期黄金時代を築いた。
1954年(昭和29年)4月、西南シャントウール創設、今日に至る。



指揮者／馬頭経明 (ばとう のりあき)

1959年、西南学院大学商学部卒業。
西南学院高校、大学を通してグリークラブに在籍。在学中指揮者として活動。
1954年高校3年在学中に西南シャントウール創設に参加。
高石 治、松岡 究、小林研一郎氏に師事。
福岡音楽文化協会に勤務。



ピアノ／瀬川啓子 (せがわ けいこ)

福岡教育大学音楽科卒業。ピアノを江頭恵美子、福田伸光の各氏に師事。
西南シャントウール、福岡合唱協会、九州電力合唱団の専属ピアニスト。
福岡在住の声楽家との共演も多い。
現在、西南学院大学文学部児童教育学科教授。



ピアノ／堺 奈々 (さかい なな)

福岡出身。5才よりピアノを田村理恵子氏、鈴木洋氏に師事。
福岡女学院高校音楽科卒業後、ドイツ・エッセン国立芸術大学に留学。Prof. Till Engel, Thomas Günterに師事。その他、夏期コースなどにも参加。在学中よりコンポチャリティコンサートなど数多くのコンサートに出演。昨年夏、卒業後、帰国。現在、ピアノ指導、伴奏、ソロ活動を行う。今年、アルバン・ベンギリとヴァイオリンコンサートを九州で行う。



声楽家／新保亮史 (しんぼ たくし)

西南学院高校在学中に西南シャントウールの創立に参加。
東京芸術大学声楽科卒業。『魔笛』のザラストロ、『フィガロの結婚』のバルトロ、ロッシェニの『オテロ』エルミーロをはじめ、『修善寺物語』『チャールダッシュの女王』など数多くのオペラに出演。カンタンテパッソの美声と堂々たる容姿で、主要オーケストラの共演や放送等でも、ソリストとして幅広い活躍を見せている。新国立劇場では2000年・2001年に『リゴレット』『トスカ』に出演している。本年8月ジョン・ミュンファン指揮、東フィル・オペラコンチエルタンテ『魔弾の射手』に出演。好評を博している。二期会会員。



指揮者／大庭尋子 (おおば ひろこ)

福岡高校、福岡教育大学、東京芸術大学声楽科卒業。声楽を北里由布子、福岡敬晃、中村浩子、坂本博士各氏に師事。芸大卒業後、声楽家坂本博士氏の音楽事務所に所属し、クラシックからシャンソン、カンツォーネ、ミュージカル、子供の歌まで幅広い演奏活動をする。
'93に帰福、西南学院グリークラブや、混声合唱団トニカの演奏会にソリストとして参加。'96、'97年に九州サマーフェスティバルに出演。
演奏活動と共に合唱指揮者としても意欲的に活動し、'99年にはアクロス福岡5周年記念合唱団の指導にもあたる。現在NHK文化サークル講師、福岡雙葉高校非常勤講師、ジュニアコーラスMIRAIなど多くの合唱団の指導にあたる。

女声合唱団グリーンヒルコール

グリーンヒルコールは昨年、節目となる10周年コンサートを開催。福岡市東区のみどり丘で産声を挙げて以来、次第に本格的なコーラスを目指すようになり、8年前に声楽家の大庭先生を迎える。毎年合唱祭や東地区交流会に、又2年前より合唱連盟主催のコンクールに参加。その他、養護学校慰問など活動の場を広げている。本日の舞台では、転勤等で団を離れた東京在住の元メンバーで東京支部を結成し、共に参加している。

- | | | |
|---|---|--|
| ● Soprano | ● Mezzo soprano | ● Alto |
| 岩田久美子
柴田知恵子
城 直子
高田 光子
田中 倫子
長柄佳代子
*川西 久子 | 小倉 和代
小野真喜江
甲斐美江子
倉成 千穂
中條 伸子
野田真智子
林 みどり | 高嶺 孝子
*赤塚久美子
*大崎 京子
*長谷川宏子
*森山 照子
*米田 靖子 |
| | | 梅田みゆき
木村 純子
杉本 純子
三角 則子
柳原 絵里
*佐藤久美子
柚木 友子 (:東京支部会員) |

女声合唱団フラウエンコール南

1979年、「南区女声合唱団」として発足する。その後、'82年、「フラウエンコール南」と改称。'93年、3代目指揮者に大庭尋子氏を迎える。'99年、福銀大ホールに於いて20周年記念演奏会を開催する。毎年、合唱祭、おかあさんコーラス大会、南区市民の祭り文化祭「合唱のつどい」に参加するなど、地域に密着した活動を続けている。毎週木曜日10時~12時まで、南市民センター音楽室にて練習を行っている。

- | | | |
|--|--|--|
| ● Soprano | ● Mezzo soprano | ● Alto |
| 岡部多美子
北村美智子
城戸まやこ
田嶋 佑子
松村 敬子
森下 晴子 | 伊藤 裕子
新原 桂子
澄川登美子
田中 淳子
鶴田 房子
松尾 元子 | 石村 篤枝
三島 浩子
吉谷佳代子
池田芙美子
津田 道子
石川 京子
石川 浩子
小沢美由紀
小野 佐和
中野 和子
中原 武子
藤原 旦子
皆口 和子
秋元 道子 |



グリーンヒルコール&フラウエンコール南 (第23回全日本おかあさんコーラス九州支部大会)

ピアノ／池松佳奈子 (いけまつ かなこ)

東京芸術大学音楽学部学理科卒業。
ピアノを安永博子、中村順子、片山敬子、勝谷寿子の各師に師事。芸大卒業後FM福岡に入社し放送の仕事に携わる。現在、女声合唱団グリーンヒルコール、コールチュリバンピアニスト。他、演奏会の司会等で活躍中。

ピアノ／藤野陽子 (ふじの ようこ)

桐朋学園大学音楽学部卒業。
第42回西日本出身新人紹介演奏会にて審査員奨励賞受賞。これまでに高島真子、安井耕一、奈良場恒美の各師に師事。現在福岡音楽学院非常勤講師。福岡室内楽協会会員。女声合唱団フラウエンコール南、ジュニアコーラスMIRAIの伴奏者。

西南シャントウール

西南シャントウールは1954年(昭和29年)4月、西南学院グリークラブOBの54期の内海敬三氏(現・指揮者)らが中心となり結成された。以来、西南学院卒業者のみのメンバーで構成されており、西南OBの結束の堅さを継続している。シャントウール(Chanteurs)という名称は、当時のアメリカ海軍の男声合唱団名の“The Sea Chanters”とフランスの男声合唱団名“Companion de la Chanson”を参考にし、結局フランス風に洒落て西南シャントウール(Seinan Chanteurs)と命名された。

結成された当時は主に全日本合唱コンクールへの出場を目指し、3位入賞などの実績を残している。ここ数十年は専ら年に一度の「定期演奏会」を活動の中心に置き、同時に又各地の合唱団とのジョイントコンサートやゲスト出演活動を続けている。現在全国的にも、毎年定演を持つ貴重な一般男声合唱団として高く評価されている。

《1年間の演奏活動》

- 2000年11月19日〔アクロス福岡〕 ● (創立46周年) 第23回西南シャントウール定期演奏会
- 12月23日〔アクロス福岡〕 ● (福岡女学院創立115周年記念) クリスマスコンサート“メシア”(有志出演)
- 2001年6月10日〔南市民センター〕 ● 第56回合唱祭
- 7月1日〔長崎・対馬〕 ● ありあけエコー第10回コンサート(賛助出演)
- 11月18日〔アクロス福岡〕 ● (福岡市民オーケストラ創立30周年記念)『2001復活』演奏会(有志出演)
- 12月1日〔アクロス福岡〕 ● (創立47周年) 第24回西南シャントウール定期演奏会

西南シャントウール出演者

●1st Tenor	●2nd Tenor	●Baritone	●Bass
秋根 武	的野 恭一	林 照樹	下川 勝史
乙藤 成美	福井 勲	内海 敬三	豊田佳日子
宮地 基次	馬頭 経明	下村 武俊	木道 昇
高木 正志	野辺 和馬	和田 正義	田中 義信
中尾 武史	波多江 忠	粟野 寿泰	鶴 喜広
出口 幸一	徳永 和彦	石川 和義	松枝 保匡
山元 一憲	石橋 一幸	古賀 正義	平田大三郎
倉地 進	石松 茂	松尾 淳郎	阪井 俊文
大司 真	今野 哲郎	佐藤 棟也	毛利 正明
	窪田 敏博	里中 健	夏秋 毅昭
	波左間 実	小西 真二	森 博彦
			中垣 登

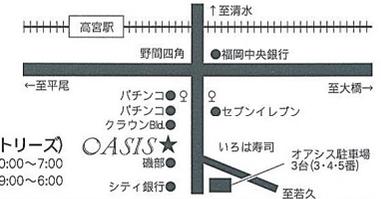
♪至福の時を体験した。去る11月18日の『復活』の演奏会時である。合唱団の一員として、福岡市民オーケストラの創立30周年記念演奏会に出演していた。合唱が始まる第5楽章までの長い間、ステージに腰をおろして指揮者の小林研一郎を正面から凝視していた。小林マジックにかけられ、練習毎に確実に腕を上げてきた若いオーケストラの音の響きが心地よく合唱の出を促すと、183名の大合唱は大きな感動のうねりとして、会場一杯に凝縮されていった。素晴らしい演奏会だった。「私は30回近く『復活』をやりましたが一番良かったと思う」と言われた小林研一郎氏の打上げ会でのコメントは、少しはお世辞はあるにせよ福岡の合唱界にとっても大変な財産となった。この感動を今宵ご来場の皆様にも少しでもお裾分け出来ればと思っています。(マネージャー/中尾武史)

ヘアートリエ オアシス<1F>
●受付・火曜 カット/10:00~7:30 パーマorカラー/10:00~7:00
●水・木・金曜 カット/10:00~9:00 パーマorカラー/10:00~8:00
●土・日・祭 カット/9:00~7:00 パーマorカラー/9:00~6:00
TEL(092)541-0795

ビューティーアトリエ オアシス<2F>
●受付・火曜 カット/10:00~7:00 パーマorカラー/10:00~6:00
●水・木・金曜 カット/10:00~9:00 パーマorカラー/10:00~8:00
●土・日・祭 カット/9:00~7:00 パーマorカラー/9:00~6:00
TEL(092)552-9119

エステティックアトリエ オアシス<3F> (ソニーシーベラボラトリーズ)
●受付・火・水・木・金曜 10:00~7:00
●土・日・祭 9:00~6:00
TEL(092)561-9593

OASIS
Beautiful All the year Round



土地 一戸建 マンション 事業用 管理

親切、丁寧、不動産のことなら当店へ
土日も営業中!! お電話お待ちしております。

福岡県知事免許(1)14016号朝日火災海上保険代理店

中垣不動産

〒810-0015 福岡市中央区那の川12丁目8番24号
TEL 092-525-7218 FAX 092-525-7228

西南学院グリークラブ 第50回記念定期演奏会

客演指揮/完戸真人 ピアノ/吉富淳子

2001年12月9日(日)開場16:30/開演17:00■ももちパレス

●ミュージカル『回転木馬』

●男声合唱による『井上陽水の世界』 ●無伴奏男声合唱のための『あしたうまれる』

主催:西南学院グリークラブ■後援:福岡市・福岡市教育委員会・福岡県合唱連盟・(財)福岡市文化芸術振興財団
朝日新聞社・九州朝日放送・FM*FUKUOKA

チケット/¥600 (福岡市、久留米市内有名プレイガイドにて発売中)

予告

《創立48周年》

第25回 西南シャントウール定期演奏会

2002年11月30日(土)16:30開演■アクロス福岡シンフォニーホール

★客演指揮/松岡 究★

男声合唱組曲「水のいのち」他



中洲店 ☎271-2220
 新天町店 ☎741-0187
 奈良屋店 ☎272-2141
 渡辺通店 ☎751-1506

大切な絵画の保存に油絵のお手入れと額装
 絵画用品・額縁・美術教材の専門店

YAMAMOTO
Bumpodo
 Since 1932

株式会社 山本文房堂
 本店/福岡市中央区大名2丁目4-32 ☎092(751)4342
 URL <http://www.yamabum.com> E-mail yamabum@anet.ne.jp

地上16階のコミュニケーションスペース



結婚式・同窓会・記念祝賀会・食事会
 講演会・展示会・記念式典・各種会議
 研修会など

幅広く、ご利用いただけます。

福岡国際ホール

福岡市中央区天神1丁目4-1西日本新聞会館16階
 ☎092(712)8855

旭書房

〒101-0052
 東京都千代田区神田小川町1-6-3F
 tel.03-5777-3755
 販売部/星雲社



話題の近視レーザー治療を
徹底解説!!

本書内容に関する問い合わせ先

広城医療法人社団 メディカルドラフト会

錦糸眼科

福岡市中央区天神1-1-1アクロス福岡4F
 ☎092-724-0878

0120-468049

<http://www.kinshi.or.jp>

錦糸眼科のレーシックで近視が治る
 著者/医学博士 高橋 貞

新書判/160頁/カラー8頁/ISBN4-434-01218-3
 定価 600円(税別)

徹底解説 近視レーザー治療
 近視レーザーセンター編

文庫判/156頁/カラー8頁/ISBN4-434-01179-0
 定価 400円(税別)

いつでも気ままに
 ご入会OK!!

大丸友の会 **ボーナスコース**
 ご入会募集中

お好みのコースをお選び下さい。

- ボーナス 3,000円コース
- ボーナス 10 5,000円コース
- ボーナス 20 10,000円コース
- ボーナス 40 20,000円コース

大丸友の会特典

- 特典1 12ヶ月お積立いただくと、1ヶ月分のボーナスをプラスした13ヶ月分の『満期お買物券』をさしあげます。お買物券のご使用は博多大丸のみでございます。
- 特典2 お中元、お歳暮のギフトが特別価格で、お選びいただけます。
- 特典3 会員様の皆様を対象とした特別催事にご招待いたします。
- 特典4 ご入会記念品進呈。
- 特典5 友の会会員様でご希望の方には、『優待証』をさしあげます。九州各県、山口及び各地一流観光ホテル、レジャー施設、映画、自動車学校などが友の会会員優待料金でご利用できます。

◎ご入金に便利な銀行・郵便局の自動振替をご利用下さい。

■西日本銀行 ■福岡銀行 ■福岡シティ銀行 ■福岡中央銀行 ■九州銀行 ■佐賀銀行
 ■東京三菱銀行 ■三井住友銀行 ■筑邦銀行 ■郵便局 以上の中からお選び下さい。

お申し込みは **西館地下2階 友の会サロン**

ファッション Ms. コンフォート





SINCE 1954 TO 2001